

石油連盟・サウジアラムコ合同流出油対応訓練の実施

Dhaifallah Ali Al Shamrani
Supervisor, AOC

はじめに

油流出は、石油産業にとって最も重大な問題の一つである。ほとんどの石油会社は、主に海洋汚染に関する政府当局の規則に従って、日常作業時における油流出事故に対応するに十分な能力をすでに備えている。

さらに、1991年に史上最大の油流出事故が発生した湾岸危機以後、アラビア湾地域に対し、世界および周辺地域の関心が高まっている。

一方、前述の油流出事故を機に、湾岸地域の環境保全、特に油流出対応能力強化の必要性に関し、世界および周辺地域の関心が集まったことも確かである。

アルカフジの石油連盟油流出対応資機材基地の沿革

- 石油連盟（PAJ）は、通産省（MITI）の支援のもとに、内外における大規模油流出事故に対応するために1991年以来実施されている大規模石油災害対応体制整備事業の一環として、アルカフジに油流出対応資機材の備蓄基地を設置するよう、アラビア石油（AOC）に要請した。
- AOCは、1993年9月、「アルカフジにおける油流出対応資機材の備蓄」に関するPAJの申入れを受諾した。
- 1994年3月および1996年3月、AOCはPAJの油流出対応資機材を受け入れた。
- サウジアラビア「石油・鉱物資源省」（PETMIN）および日本の関係者の出席を得て、アルカフジ現地事務所において、PAJとAOCにより、PAJ備蓄基地の落成式および資機材の実演が行われた。クウェートからは、地域海洋環境保護機構（ROPME）の事務局長以下の代表者が出席した。

アルカフジ基地の PAJ 油流出対応資機材

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1 - VIKOMA ハイブリントオイルフェンス- 250m | (4 基) |
| パワーバック | (4 基) |
| 充気装置 | (4 基) |
| 2 - PHAROS MARINE 油回収機 GT-185 | (4 基) |
| パワーバック | (4 基) |
| 遠隔操作装置 | (4 基) |
| 高圧清浄装置 | (4 基) |
| 3 - VIKOMA POWER VAC SYSTEM | |
| ディーゼルエンジン付ビーチクリーナー | (2 基) |
| 4 - VIKOMA ファスタンク (2000 ガロン) | (8 基) |

PAJ の油流出対応プログラムに関する考察

油流出対応資機材備蓄基地の管理

「油流出対応資機材の保管に関する協定」に従い、PAJ と AOC との間で、「維持管理契約」および「貸出契約」が締結された。

AOC は、東京の PAJ と協力して、上述に関する事項、または借り主に関する事項を管理している。この資機材は、AOC が管理し、海事部環境保全室 (EPS) がその業務を担当している。

PAJ の油流出対応資機材の貸出し状況

PAJ は、カフジ基地で、借り主 (湾岸地域石油会社相互援助機構 (GAOCMAO) のメンバー会社および / または政府当局) に対する貸出契約に基づく貸出し手続きを開始した。現在のところ、貸出し要請は出ていない。これは、この地域で大規模油流出事故が発生していないことを示している。

また、PAJ と AOC 間で締結された「特別契約」による貸出し要請もどこからも来ていない。

PAJ の油流出対応資機材のサウジアラムコ・ラストヌラへの輸送

PAJ・サウジアラムコ合同油流出対応訓練で使用するため、1999 年 11 月 27 日、サウジアラムコ・ラストヌラへ向けて、PAJ 資機材の第 1 回の輸送が行われた。

現地請負業者 (ACMC) は、AOC (調整者) を通じて PAJ からの要請を受け、特別輸送契約により PAJ の資機材の一部をアルカフジ基地からラストヌラへ輸送した。

書類手続および輸送作業は支障なく円滑かつ安全に行われ、資機材は予定通り目的地に到着した。

資機材の保守点検

PAJ 資機材の日常保守点検作業は、現地請負業者「アラビアン・コンストラクション & メンテナンス・カンパニー」(ACMC)により月次ベースで実施され、海事部(TMD)環境保全室(EPS)が、監督および調整を行っている。また、半年ごとに全般保守点検計画が実施されている。

保守点検作業には、現場での空運転、オイル点検、必要であれば損傷部品の交換、資機材の清掃、保管場所の整理などが含まれる。

アルカフジ基地の油流出対応要員に対する PAJ の訓練

PAJ とカフジ基地との間の情報交換(訓練)が、これまでに 2 回行われた。1 回目は 1997 年 11 月、アラブ首長国連邦のシャルジャで行われ、AOC から 6 名、請負業者(ACMC)から 2 名のスタッフが参加した。訓練は、プレゼンテーションや講義のほか、沖合におけるオイルフェンスの展張と油回収機の操作、ファスタンの組立てと収納などについて実施された。

第 2 回目は 1999 年 11 月、サウジアラビアのラストヌラで PAJ とサウジアラムコの合同油流出対応訓練が実施され、アルカフジ基地の油流出対応要員(AOC および ACMC の要員)とサウジアラビア政府当局の関係者が参加した。

PAJ・サウジアラムコ合同油流出対応訓練の実施

EPS/TMD は、AOC の首脳部を通じて、1999 年 11 月 27 ~ 30 日の間、サウジアラビアのラストヌラにおける PAJ・サウジアラムコ合同油流出対応訓練に参加するよう要請を受けた。

ラストヌラで行われた PAJ、サウジアラムコ、AOC による予備打合せの後、訓練シナリオ、実施日、スケジュールおよびプログラム、参加人数など、訓練の大筋に関する話し合いが持たれた。また、この訓練で使用するため、アルカフジ基地から PAJ の油流出対応資機材の一部(オイルフェンス(250m)1 基、油回収機 1 基、ビーチ・クリーナー 2 基、ファスタンク 8 基)が運ばれた。

アルカフジ基地の油流出対応チーム(AOC5 名、ACMC3 名、合計 8 名で構成)は、本訓練において十分にその使命を果たした。

アラビア石油(AOC)におけるこの訓練の目的

1. 新たな地域協力を確立するために、サウジアラムコと油流出対応に関する情報の交換を行う。
2. サウジアラムコとのコミュニケーションおよび PAJ との連携を訓練する。
3. 緊急事態が発生して要請があった場合、借り主に引渡すべき資機材の準備および動員に要する時間を測定する。

4. 緊急事態発生時に PAJ の資機材を使用して迅速な対応を行う。

アルカフジ基地の油流出対応要員に対するこの訓練のメリット

1. AOC の油流出対応要員と他の対応機関との合同訓練により、新たな経験が得られた。
2. PAJ の資機材を使用し、実際の油流出事故に即した実践的な訓練を行うことができた。
3. PAJ およびサウジアラムコの関係者を知ることができた。
4. 荒天下で訓練が行われたことから、油流出対応要員にとって、悪天候の下で事故処理を行う良い機会となった。
5. 他関係者と一つのチームを組んで作業することによる強い絆が、作業を成功に導く秘訣であることが示された。